

日本食文化を通じた貿易振興イベント

「Japan-Kazakhstan Gastronomy Networking 2026」の開催

2026年3月12日(金)、日本大使館はアルマティ市内において、カザフスタンにおける日本食文化の浸透を通じた両国間の貿易振興を目的とする「Japan-Kazakhstan Gastronomy Networking 2026」を開催しました。

第一部のセミナーでは、飯島大使から食文化を通じた両国関係の強化に期待を寄せる旨のスピーチに続き、日本企業17社が登壇し、各社の日本食製品や調理機材を流通事業やレストラン経営に関わるカザフ企業の関係者にPRしました。会場では現地企業からも積極的に質問が寄せられ、具体的な協業の可能性に言及する企業も見られました。

第二部では、実演会や商談会を兼ねたレセプションを開催し約160名が出席しました。会場では、日本食材をオープンキッチンで調理して提供しゲストに味わっていただくとともに、日本製の調理器具の使い方を実演したほか、現在カザフでも人気が高まっている抹茶の点て方など日本文化の紹介も行いました。レセプションの各所において日本企業とカザフスタン企業による商談やネットワーキングがさかんに行われ、両国企業の新たな接点が形成されました。



